

生活行動援助技術	1年・後期	2単位 60時間	教授 伊藤美鈴 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110531

### 1. 授業のねらい・概要

学生が、看護実践能力の基礎となる人間の生活行動と看護について学習し、援助ニーズを充足する基本的な技術の修得を目的とする。

学生は、良い看護を行うために、人間の生活行動における共通性と個別性を理解し、より良い援助について考察する。

### 2. 学修の到達目標

1. 人間の生活行動における生理的・社会・心理的側面が理解できる。(D-2)
2. 衣生活の援助を実施する意義を理解する。(D-2)
3. 自力で寝衣交換が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「寝衣交換」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
4. 清潔の意義とその援助の目的を理解する。(D-2)
5. 清潔保持の方法と種類と適応、留意点を理解する。(D-2)
6. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「全身清拭」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
7. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「洗髪」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
8. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「手浴・足浴」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
9. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「陰部洗浄」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
10. 自力で清潔行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「口腔ケア」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
11. 排泄の援助技術の根拠を理解し、トイレにおける排泄、ベッドサイドでの排泄、ベッド上の排泄など患者の病態およびADLに応じた様々な排泄援助の実態について学ぶ。(D-2)
12. 自力で排泄行為が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「排泄の援助(床上排泄, おむつ交換)」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
13. 経口摂取可能な患者のための食事の種類や形態、具体的な介助の方法を学ぶ。(D-2)
14. 自力で摂食行動が行えない患者に、安全・安楽・自立に向けた教育的支援に配慮した「食事介助」技術を実施する方法を学ぶ。(D-2)
15. 援助を受ける人の身体的・心理的反応を体験することにより、対象の理解を深めることができる。(D-2)
16. 実施した援助を振り返り、援助提供者としての課題を明らかにすることができる。(D-2)
17. 看護提供者としての身だしなみ・態度・言葉遣いについて考え、自ら実践することができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義、講義内容に則ったデモンストレーション、チェックリストを用

いた演習の形式で進める。演習は数名の学生で編成したグループ単位で行い、患者・看護者・観察者を体験し、グループディスカッションにより学びを共有する。授業形態として①・②の2クラスに分ける。授業形態は、①・②クラス講義，①クラス演習，②クラス演習，①・②クラス演習。演習レポート（事前・事後）を作成し，学習の深化を図る。

【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

講義の最後に，アクティブ・ラーニングとして，振り返りシート（リアクションパーパー）を用いて自分の学びを確認してもらう。

【ICT活用の有無】

ICT活用（Classroomによる学習教材の配信）を実施する。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	<u>衣生活の援助技術</u> 衣生活を考える 衣服を用いることの意義，目的，被服気候，衣生活のアセスメント，援助方法について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P227～P232を精読する。「看護がみえる①」P195～P206を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤美鈴
2 3	<u>寝衣交換</u> 病衣・寝衣交換の実際	演習	予習：課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
4	<u>清潔の援助技術Ⅰ</u> 皮膚の構造と機能，清潔の意義，方法，留意点について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P171～P177を精読する。「看護がみえる①」P140～P142を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
5	<u>清潔の援助技術Ⅱ（全身清拭）</u> 清潔のアセスメント，清潔保持の方法の種類と適応，留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P184～P189を精読する。「看護がみえる①」P143～P163を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
6 7	<u>全身清拭</u> 全身清拭の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P184～P189，「看護がみえる①」P143～P163を精読する。ナースチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
8	<u>清潔の援助技術Ⅲ（洗髪）</u> 頭皮・頭髪のアセスメント，清潔保持の方法の種類と適応，留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P190～P198を精読する。「看護がみえる①」P184～P194を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
9 10	<u>洗髪</u> 洗髪の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P190～P198，「看護がみえる①」P184～P194を精読し，ナースチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：演習振り返りシートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他

11	<u>清潔の援助技術Ⅳ（手浴・足浴）</u> 手浴・足浴の効果，清潔保持の方法の種類と適応，留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P199～P204を精読する。「看護がみえる①」P164～P174を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
12 13	<u>足浴</u> 手浴・足浴の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P201～P204，「看護がみえる①」P164～P174を精読し，ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
14	<u>手浴</u> 手浴の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P199～P201，「看護がみえる①」P164～P174を精読し，ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
15	<u>排泄の援助技術Ⅰ</u> 排泄器官の機能と排泄メカニズム，排泄援助の意義，排泄援助のアセスメント，排泄援助方法の種類と適応，留意点について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P65～P71を精読する。「看護がみえる①」P218～P219を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
16	<u>排泄の援助技術Ⅱ</u> 排泄の援助を考える2 排泄介助（トイレ，ポータブルトイレ，床上，おむつ）について	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P71～P79を精読する。「看護が見える①」P220～P242を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
17 18	<u>床上排泄援助（尿器・便器）</u> 尿器・便器介助の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P74～P77，「看護が見える①」P218～P242を精読し，ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
19 20	<u>おむつによる排泄援助</u> おむつ交換技術の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P77～P79，「看護が見える①」P218～P242を精読し，ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他
21	<u>清潔の援助技術Ⅴ（陰部洗浄）</u> 清潔のアセスメント，清潔保持の方法の種類と適応，留意点	講義	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P204～P206を精読する。「看護が見える①」P175～P183を精読する。 復習：配布資料とテキストを照らし合わせて内容の確認をする。	伊藤
22 23	<u>陰部洗浄</u> 陰部洗浄の実際	演習	予習：「基礎看護技術Ⅱ」P204～P206，「看護が見える①」P175～P183を精読し，ナーシングチャンネルの動画を視聴する。課題レポートをまとめる。 復習：課題レポートをまとめる。チェックリストで演習で実施した内容を振り返る。	伊藤，他



課題レポート	知識	・課題レポート	・事前課題を授業を促進するよう内容で具体的に記載している ・事後課題を授業後の振り返りとなるように具体的に記載している ・未提出で声をかけられていない ・再提出がない	・事前課題を具体的に記載している ・事後課題を具体的に記載している ・未提出で声をかけられていない ・再提出がない	・事前課題を記載しているが具体的にない ・事後課題を記載しているが具体的にない ・未提出で声をかけられてから提出した課題がある ・再提出がある	・事前課題を忘れることがある ・事後課題を具体的に記載できない ・未提出で声をかけられてから提出した課題がある ・再提出がある	・事前課題を忘れている ・事後課題をわすれている ・未提出で声をかけられてから提出した課題がある ・再提出がある
--------	----	---------	--	--	--	--	---

## 6. テキスト・参考文献

教科書：1) 任和子：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ，医学書院．2022

2) 医療情報科学研究所編：看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版，メディックメディア．

3) 医療情報科学研究所編：看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版，メディックメディア．

参考書：随時紹介する

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学修内容

シラバスの授業計画の範囲について，最低1時間の予習および授業内容について最低1時間以上の復習を行う。

臨地で実践可能な水準の技術を修得するため授業時間外で自主練習を行う。

さらに，指定された課題レポートに取り組み，期限内に提出すること。

演習時は臨地実習と同様の身だしなみを整えておく。

## 8. 受講上の留意事項

主体的・意欲的な授業への参加が重要である。授業中の私語，授業中に授業に関する作業以外の行動および他授業中に本授業に関する作業を実施する等の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

課題は，指定された用紙に手書きで作成すること。期限までに提出がないものは未提出とみなす。

演習時の身だしなみは，参加態度として評価の対象とするので注意すること。

2年後期の「受け持ち看護実習」の先修科目である。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

提出物は教員が内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもある。

技術チェックの結果は，実施後の「技術チェックの振り返り」でフィードバックする。

定期試験の答案は返却しない。模範解答は試験後解説するか，もしくは掲示する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目及び，2年生後期の受け持ち看護実習の先修科目であるため，修得できない場合進級不可となる。

**11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される**

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義・演習を行います。